

「映画字幕翻訳」特別講義のご案内

映像がデジタル化の時代を迎えて、海外作品の日本語字幕・吹替えの役割はますます大きくなってきました。劇場で公開される映画はもとより、多チャンネル放送などで、日本語字幕の需要は高まるばかりです。

字幕の翻訳に分かりやすい言葉が求められるのは当然ですが、字幕を映像に重ね合わせるため、字数と字面も配慮しなければなりません。そうした「要約翻訳」のテクニックは、独特な翻訳世界をつくっています。ふつうの翻訳と、どこが、どう違うの？ ほんとうのところ、なにが大変？

字幕翻訳の世界で活躍中の第一人者がやさしく分かりやすく、楽しく語りかけます。字幕翻訳をしてみたい人はもちろん、映画が好きな人ならどなたでも、お誘い合わせのうえ、ふるってご参加ください♪

●日時 2008年12月3日(水)午後3時～午後7時(休憩30分)

●会場 大阪大学豊中キャンパス 実践教育センターC402教室 (地図中の⑪の建物内)
電車：阪急宝塚線「石橋駅」、大阪モノレール「柴原駅」下車徒歩約15分

講師 寺尾次郎さん(字幕翻訳家)

フランス映画の字幕の第一人者。エリック・ロメール、ゴダール、キエシロフスキ監督作品から「TAXI」シリーズまで、アート系から一般映画まで手掛けた字幕作品は多数。フランス語、英語を中心に劇場公開作品、国際映画祭などで活躍。最近の作品には『ランジェ公爵夫人』『敵こそ、我が友』『リダクトッド真実の価値』など。

堀三郎さん(アテネフランセ文化センター)

堀氏は、日本における字幕投影システムの第一人者。東京国際映画祭・京都映画祭をはじめ日本各地の映画祭で活躍。字幕制作プロデューサーとして活動されている。

司会 上倉庸敬教授(大阪大学大学院文学研究科教授・大阪アジアン映画祭実行委員長)



●共催 大阪アジアン映画祭2009実行委員会

●協力 NPOコミュニティシネマ大阪

●お問合せ先 06-6373-1211(大阪アジアン映画祭2009実行委員会)